



電球交換式ハロゲンヘッドランプユニット 取扱説明書

目次

↓ご覧になりたい項目をクリックしてください。

取扱説明書	2
安全上の注意	2
使用上の注意	3
取付け前の確認と準備	4
交換取付け作業	5



電球交換式ハロゲンヘッドランプユニット



【丸型】HSSB-16-12HP / HSSB-16-24HP / 4HSSB-1-12HP / 4HSSB-2-12HP / 4HSSB-1-24HP / 4HSSB-2-24HP
【角型】2HRSSB-12HP / 2HRSSB-24HP / 4HRSSB-1-12HP / 4HRSSB-2-12HP / 4HRSSB-1-24HP / 4HRSSB-2-24HP

取扱説明書


- この度はKOITO製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。お取付け、配線の前に本取扱説明書を必ずお読みください。取扱説明書に基づき、お取付けください。お読みになった後も大切に保管し、必要なときにお読みください。
- 下記警告・注意事項や取扱説明書の内容を守らなかったことが原因で発生した事故や傷害につきましては、責任を負いかねますのでご注意ください。

本説明書は、オールガラスシールドビームランプユニット(以下、SB)を電球交換式ハロゲンヘッドランプユニット(以下、HSSB)へ交換する際の説明書です。

- 掲載内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危険や損害の程度を、下記の表示で分類し、注意しています。

	警告	この表示は、「死亡、または重傷などを負う危険が想定される」内容です。
	注意	この表示は、「傷害を負うか、または物的損害のみが発生する危険が想定される」内容です。


- お守りいただく内容を、次の絵表示で説明しています。

	この絵表示は、してはいけない「禁止」事項を表しています。
---	------------------------------

安全上の注意



- 本商品を車両に装着する際は、必ずイグニッションと灯具のスイッチをOFFにしてバッテリーのマイナス端子を外してから作業を行ってください。感電する恐れがあります。
- バッテリーへのハーネスの取付けは、極性をよく確認し、間違えないように取付けてください。
- 点灯中のランプを直視したり、間近で見つめないでください。
高輝度の光により目が痛くなったり、視力障害の原因になったりすることがあります。
- 引火する危険性があるところ(ガソリン、シンナーの付近など)で点灯しないでください。
爆発や火災の原因となることがあります。
- 本商品を落としたり、物をぶついたり無理な力を加えたり、キズをつけたりしないでください。
破損した場合、部品が飛散しケガの原因となります。
- 本商品の加工、改造(塗装など)は絶対に行わないでください。
故障の原因となるだけでなく、感電や破損、発火、発煙の原因となり大変危険です。
- ハーネスの被覆に損傷が発生した場合は、直ちに使用を中止してください。
- 取付け後、HSSBと他の部品が干渉していないか確認してください。
万一干渉している場合は、HSSBを購入した販売店にご相談ください。
(そのまま走行すると破損や故障の原因となり、重大な事故を招く場合があります。)
- 使用済みのHSSB、SBは割らずに破棄してください。割るとガラスが飛散しケガの原因となります。
- HSSBは、十分な強度・耐久性を持たせてありますが、保管条件や取扱い条件、走行条件によっては、破損し点灯不良などの故障が起こる可能性があります。
保管、取付け作業、ご使用に際しては十分にご注意ください。
- HSSBへの交換にあつたては、車両に「ライトコントロールリレー(ヘッドランプリレー・ライティングリレーなど)」が装着されているか必ず確認してください。
(不明な場合は、ディーラーなどへご確認ください。)
車両に「ライトコントロールリレー」が装着されていない場合は、別売の「リレーキット」を必ずご使用ください。非装着車両に「リレーキット」を使用しないと、消費電力の増加により異常点灯やライトの点灯回路(スイッチ、コードなど)の容量不足による焼損などの不具合が発生する恐れがあります。ただし、角型2灯式の車両には、「ライトコントロールリレー」の装着の有無によらず「リレーキット」を使用する必要はありません。

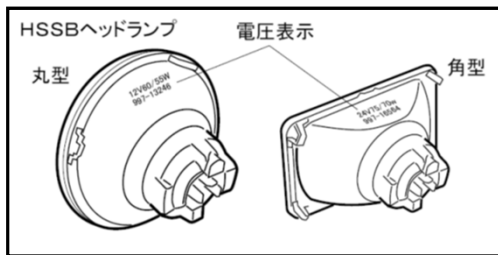
 注 意	<ul style="list-style-type: none">●本商品を車両に装着する際は、専門知識を必要とする場合がありますので、専門の整備工場で行ってください。●安全のため、装着作業など行う場合は、清潔な手袋、作業用メガネを必ず着用してください。●交換作業は、ランプを消灯し必ずエンジンルームやランプなどの熱を十分冷ましてから行ってください。●点灯中や消灯直後は各部品が熱いので、手や肌などを触れないでください。火傷の原因となります。●幼児の手の届く場所に置かないでください。割ってケガの原因となることがあります。●HSSBへのコネクタの接続は、確実に行ってください。●車両のハーネスを強く引っ張らないでください。●車両のコネクタを外す際は、コード線を引っ張らず、コネクタ本体を持って外してください。●ハーネス配線は、車両のワイヤリングハーネスに沿ってまとめたり、クランプを利用して固定してください。●ハーネスが車両や他の部品と接触する恐れがあるところでは、損傷と擦れ防止のため、ビニールテープ、またはクランプで固定してください。
---	---

使用上の注意

<ul style="list-style-type: none">●本商品は12V車専用または、24V車専用です。規定の電圧以外の車両には使用しないでください。●本商品は自動車専用です。自動車以外には使用しないでください。 使用された場合の不具合などにつきましては責任を負いかねます。●本商品を車両に装着する際は保安基準など、自動車関連法規に抵触しないようにしてください。●装着時に対向車を幻惑させないことをご確認ください。●点灯中は灯具が高温となります。点灯中や消灯直後の洗車は避けてください。●走行中に異常な振動や音を感じたら、直ちに安全な場所に停車し、よく点検してください。 (そのまま走行を続けると、重大な事故の原因となることがあります。)●本商品を取付け後に衝突などの強い衝撃を受けた場合に、取付け部分や本体に変形や破損、および故障が生じた場合、直ちに使用をおやめください。●走行前には、レンズ表面の異物(汚れ、雪など)は取り除いてください。 異物によりヘッドランプ点灯時の性能が十分に発揮されない恐れがあります。●上記の事項と本書の取付け方法を必ずお守りください。

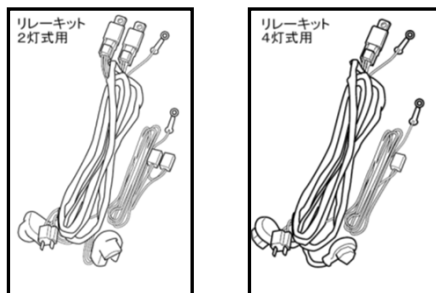
■ 1. 取付け前の確認と準備

(1) ヘッドランプユニットの確認



交換用に用意したHSSBの電圧が車両で使用しているバッテリー電圧と同じであることを確認してください。
(電圧表示はランプユニットの裏側に表示されています。)

(2) リレーキットについて



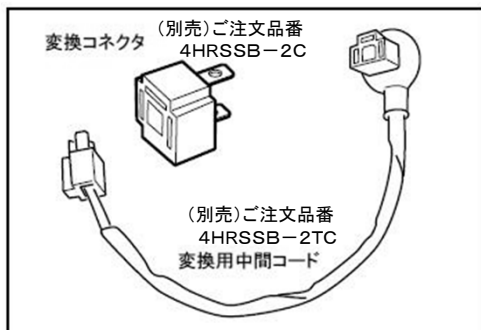
丸型2灯式および、4灯式の内側(タイプ1)(角型・丸型ともに)の配線には「リレーキット(別売)」が必要な場合があります。
ディーラーなどにご確認ください。

※ 角型2灯式の車両については、
「リレーキット」を使用する必要はありません。

⚠ 注意

「ライトコントロールリレー(ヘッドランプリレー・ライティングリレーなど)」が装着されていない車両には、必ず「リレーキット(別売)」をご使用ください。使用しないと、異常点灯やライトの点灯回路(スイッチ、コードなど)の容量不足による焼損などの不具合が発生する恐れがあります。
それぞれの商品の「取扱説明書」を参照のうえ、確実に取付けてください。

(3) 回路変換について



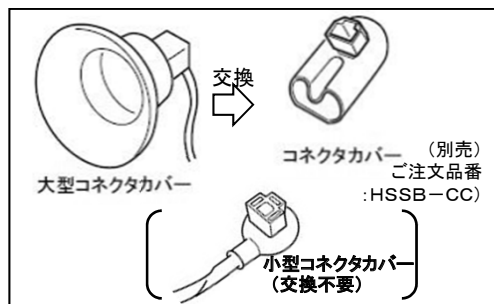
・角型4灯式の外側(タイプ2)の「SB」と「HSSB」は、端子配列が異なるため、車両配線状態のまま接続すると異常点灯となります。
・正しく点灯させるため、端子配列を変換する「変換コネクタ(別売)」または、「変換用中間コード(別売)」を必ずご使用ください。

※「変換用中間コード」は、
ヘッドランプ後部のスペースが確保できない場合に
ご使用ください。
※角型4灯式の外側(タイプ2)以外は、「変換コネクタ」または、
「変換用中間コード」を使用する必要はありません。

⚠ 注意

「変換コネクタ」「変換用中間コード」を使用する場合は、それぞれの商品の「取扱説明書」を参照のうえ、確実に取付けてください。

(4) コネクタカバーについて



・大型コネクタカバーが装着されている車両(主に、トラック・バス)は、「コネクタカバー(別売)」に交換してご使用ください。
なお、小型コネクタカバーの車両は交換する必要はありません。

⚠ 警告

「大型コネクタカバー」を交換せずに使用した場合、車両側配線に水が浸入し、不点灯の原因になることがあります。
「コネクタカバー」の取扱説明書を参照のうえ、指示通り交換ください。


⚠ 注意

「コネクタカバー」を使用する場合は、商品の「取扱説明書」を参照のうえ、確実に取付けてください。

■2. 交換取付け作業

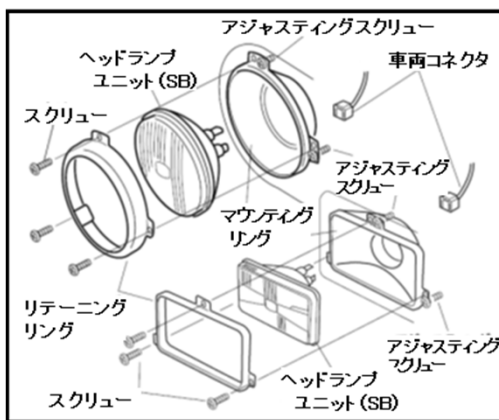
※取付け作業は、下記事項を確認のうえ開始してください。

- ①ヘッドランプの消灯、およびエンジンが停止していることを確認してください。
- ②バッテリーのマイナス端子を外してください。
- ③ヘッドランプの取付け・取外し方法などについては、整備マニュアル(修理書など)を参照ください。

 注意	<p>・ランプユニットは高温となるため、点灯中、および消灯直後は手や肌で直接触れないようにしてください。火傷の原因となります。</p> <p>・ランプユニットの固定枠、または車体のエッジなどで手を切らないように注意してください。</p> <p>・静電気を除去し、ショートなどなきよう注意して作業してください。</p>
---	--

【1】ヘッドランプユニットの交換

(1)HSSB、またはSBの取外し

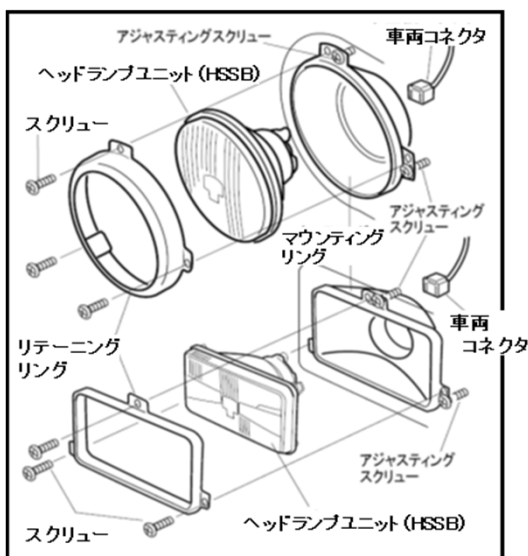
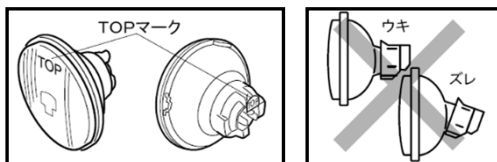


現在装着されているヘッドランプユニットを取外します。

- ①ヘッドランプ周りのリムやグリルを取外します。
(車両によりフロントグリルの取外しが必要となる場合があります。ヘッドランプリム、フロントグリルの取外し方法は、整備マニュアルをご確認ください。)
- ②スクリューを外し、リテーニングリングを外します。
- ③ヘッドランプユニットを引き出しながら車両側コネクタを外し、ヘッドランプユニットを取外します。(車両側コネクタを外すときは、必ずコネクタ本体を持って外してください。)

⊗ **アジャスティングスクリュー、マウンティングリングは外さないでください。**

(2)HSSBの取付け



- ①取付ける前にHSSBの後部についているゴムカバーがリフレクターに密着していること、およびゴムカバーのTOPマークがレンズのTOPマークと同じ方向にあることを確認してください。
- ②「リレーキット」・「変換コネクタ」・「変換用中間コード」・「コネクタカバー」を使用する場合は、それぞれの商品の「取扱説明書」を参照のうえ、確実に取付けてください。
- ③取外した車両側コネクタをヘッドランプユニットの端子に確実に接続してください。
- ④ヘッドランプユニットをマウンティングリングにセットし、リテーニングリングをはめ込み、スクリューでガタのないように締め付けてください。(締め付けトルクは、1.0N・m±0.2N・m)
- ⑤ヘッドランプリム、またはフロントグリルを元通りに取付けてください。(ヘッドランプリム、フロントグリルの取付け方法は、整備マニュアルをご確認ください。)

※ヘッドランプユニット交換後の球切れは、**バルブのみ交換を行ってください。**

【2】点灯確認

- ①ヘッドランプユニットの交換が完了したら、再度取付けや配線を確認してください。
- ②取付け作業時に外したバッテリーのマイナス端子を、確実に接続してください。
- ③接続後下表に従い、点灯状況を確認してください。
 ※ハイビームインジケータが正しく作動しない状態は法規違反になりますので、公道走行はおやめください。
 その場合には、もとのヘッドランプユニットに戻してください。

ヘッドランプスイッチ	ハイ/ロー 切り替えスイッチ	HSSB				ハイビーム インジケータ
		2灯式	4灯式 車両外側:タイプ2/車両中心側:タイプ1 配置の場合			
			タイプ2・タイプ1	タイプ1・タイプ2		
OFF	—	● ●	● ● ● ●	● ●	●	
ON	ロービーム	○ 下向 ○	○ ● ● ○	● ○	●	
ON	ハイビーム	○ 上向 ○	○ ○ ○ ○	○ ○	○	

○:点灯 ●:消灯

【3】光軸調整(配光確認)

保安基準に従って、専門の整備工場などで光軸調整をおこなってください。
 光軸調整方法については、車両側整備書をご確認ください。



警告

光軸調整をしないままでの走行は、絶対におやめください。
 他車の運転者に幻惑を与えるなど、事故を起こす原因となる場合があります。